



其の112

阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会
会長 湯浅良幸

阿波の藩札(三)

「安政の金の大流出」

はじめにわが国における金銀産出量の激減ぶりについて述べよう。たとえば金は元和(一六一五―二二)末年には四〇五万両が上納されていたが、しかし寛永(一六二四―四七)末期になるとほとんど上納されなくなった。佐渡の銀も元和末期に五〇六千貫が上納されていたが、元禄五(一六九二)年にはわずかに六百八十五貫に激減している。次に金銀の海外流出について述べよう。

長崎奉行の報告によると、慶安元(二六四八)年と宝永五(二七〇八)年の六十一一年間に海外へ流出した金は二百三十九万両、銀は三十七万貫とある。江戸時代の代表的学者新井白石(二六五七―一七二五。七代将軍家継を補佐し、貨幣政策に深く関わった。)は慶長(一五九六―一六一四)以降宝永(一七〇四―一〇)末期までに金銀流出額は製造総額に比べて金は四分の一、銀は四分の三を失つたと述べている。次に「安政の金の大流出」について本論に入ろう。安政五(一八五九)年、日本はアメリカ・イギリス・フランス・オランダ・ロシア・ドイツなどと通商条約を結んだ。その中に日本は開港後一カ年以内に外国人から請求された場合、外国の金銀貨と同量の日本金銀貨とを交換する同価値同量をとった。しかし、日本と外国の間では金銀比価に大きな差異があった。日本では金一に対して銀十強だった。イギリスでは金一に対して銀十五・五だった。従って、安政六(一八六〇)年開港と同時に外国人はこの制度を利用して、外国人は欧州における安い銀貨をもつてわが国の一分銀と交換し、この一分銀をもつて小判(金四分)を手に入れ、この小判を海外へ持ち出すことによって巨利を博した。

同年十一月、幕府は駐日アメリカ公使ハリスの忠告を受け入れ貨幣取引の義務を撤廃したが、すでに遅きに失した。八月以降四カ月間に小判の海外流出は一万枚以上に及んだと言われる。流出貨幣の実態をアメリカ貨幣を例にして述べよう。洋銀百枚をもつて安政年間製造の一分銀と交換すると三百十一枚となる。この交換によって得た一分銀三百十一枚を安政年間製造の二分判金と交換すると百五十五枚を手に入れることができた。この金貨を米貨に換算すると百五十ドル八十四セント四六四一となる。つまり、洋銀の取引を一回することによって外国人は五十一ドルの利益をあげることになる。このような状態が起きたのは正に情報力の不足に基づくものである。さらに幕府内における経済官僚の軽視にあった。いかに長い間鎖国が続いたとはいえお粗末である。

参考 湯浅良幸著『阿波貨幣史』(続く)



洋銀(メキシコ銀)

あなんカルチャー



「ジュニアコンサート」出演者募集!

日時 6月19日(日) 13:30開演予定
場所 コスモホール(情報文化センター)
出演者 阿南市在住の高校生以下の子どもたち(未就学児童を含む)
演奏方法 電子楽器および音声拡声器を使用しない洋楽器による生演奏
演奏形態 独奏およびアンサンブル
参加費 無料
申込方法 所定の用紙にて情報文化センターまでお申し込みください。(郵送可)
申込書配置場所 情報文化センター、文化会館、市民会館、各公民館、市立図書館
申込締切日 5月15日(日) ※当日消印有効
問い合わせは 情報文化センター(☎44-5000)へ

■ウミガメ上陸に関するお願い

阿南市では「阿南市ウミガメ保護条例」に基づき、ウミガメ保護に努めています。また、阿南市内の海岸に上陸するウミガメの頭数調査を毎年実施しています。ウミガメの上陸、または足跡が確認された場合は、文化振興課までご連絡ください。
問い合わせは 文化振興課(☎22-1798)へ

■第55回記念 阿南市美術展

市内を中心とした美術愛好家の皆さんの力作をぜひご覧ください。入場は無料です。
日時 5月3日(例)~5日(例) 9:00~17:00
※5日(例)は16:00まで
場所 文化会館 視聴覚室・研修室
出品作品 書道、日本画、洋画、写真、美術工芸
問い合わせは 文化会館(☎21-0808)へ

■ロレアコンサート

2015年度オーディエンス賞受賞者による演奏会。ゲストにハープの福井麻衣さんを迎えます。ピアノ・歌・ハープ ことなる音色の3つのステージをお楽しみください。

日時 6月12日(日)
14:00開演 16:30終演予定

場所 夢ホール(文化会館)
入場料 1,000円(小学生以上)

出演者
竹内郁子・西口幸江(連弾)
組曲「ドリー」作品56
マーチ「一度っきりの人生」
琉球幻想曲
ほか



刘宇(バリトン)
千の風になって
歌劇「フィガロの結婚」より
「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」
ほか



福井麻衣(ハープ)
浜辺の歌
亜麻色の髪の乙女
オペラ「エフゲニー・オネーギン」の主題による幻想曲
ほか



問い合わせは 文化会館(☎21-0808)へ

科学センター



ホームページ <http://www.ananscience.jp/science/>

夜間天体観望会(有料・要予約)

大型望遠鏡を使って、その時期に見えるいろいろな天体を見ていきます。
日時 毎週土曜日の午後7時~、8時~、9時~(1日3回)
参加料 大人300円、高校生250円、小中学生200円、幼児無料

デジタルプラネタリウム(無料)

土、日曜日、祝日の午後1時30分~、3時~の2回実施。
5月のテーマ「今夜の星空と惑星たちのお話」
当日見える星空の紹介と、この時期見やすい惑星たちについての神話をご紹介します。

子ども科学フェスティバル(無料)

科学センターでは、ゴールデンウィーク期間中、子供向けの科学実験や工作ができる特設のブースを出展します。参加はいつでも予約不要です。
日時 5月3日(例)~5日(例) 午前9時30分~午後4時
お楽しみ科学講座
日替実験ブース 期間中、終日開催
おもしろ科学実験 期間中の毎日午前11時~、午後2時20分~実施
デジタルプラネタリウム 期間中の毎日午前10時30分~、午後1時30分~、3時~実施
投影番組「もつと不思議の国のアリス」※くわしくは、4月中旬に小中学校を通じて配布された「科学センターだより」、またはホームページをご覧ください。

おもしろ科学実験(無料)

土、日曜日の午前11時~、午後2時20分~。実施時間は約30分です。
※テーマはお問い合わせください。

問い合わせは 科学センター
(☎42-1600)へ
5月の休館日
2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)